消防千葉

2025 No.612　令和7年11月号

目　次

巻頭言（浦安市消防本部　消防長）	2
第 26 回 全国女性消防操法大会　千葉県代表（柏市女性消防隊）激励会	3
第 46 回 九都県市合同防災訓練（千葉県会場）	4・5
第 53 回 全国消防救助技術大会	6・7
消防職員初任科第 179 期卒業式	8
消防職員初任科第 180 期入校式	9
第 44 回 全国消防殉職者慰霊祭	10
令和 7 年度 女性防火研修会	11
東西南北	12・13
日々の動き	14

女性消防団員による普通救命講習（山武支部）

巻頭言

「半世紀の歩み　みらいへ繋ぐ安全の力」

浦安市消防本部　消防長　**高梨　俊治**

浦安市は千葉県最西端に位置し、総面積は18.79㎢、水辺に囲まれた東京湾沿岸の街です。令和7年10月1日時点の人口は172,201人でコロナ禍が過ぎてから緩やかに増加しています。

市内の交通は、東京メトロ東西線とJR京葉線の2路線のほかディズニーリゾートラインによる公共交通機関があります。首都高速道路湾岸線等の利用により、首都圏近郊へのアクセスを容易にする環境が整っています。当市はレジャー施設を中心とした観光都市として知られていますが、千葉県で最も人口密度が高いベッドタウンでもあります。近代的な街並みや下町風情が残る旧市街地、国内最大規模の鉄鋼団地など、多彩な魅力を持つ地域を守るため、消防行政にもきめ細かな対応が求められています。

当市の計画事業として、新たに（仮称）消防署舞浜出張所（令和9年に完成予定）を整備します。舞浜地区は、南西端に位置し、住宅や商業施設が調和しながら発展を続けており、市内でも特に活気のある地域として認知されています。今後も舞浜地区及び周辺地域をはじめ、市内全域の安全と安心を支える新たな拠点として出張所を整備することで、消防・救急活動の向上を図る上で大切な役割を担うこととなります。ほかにも、令和6年には、電動ストレッチャーを装備した高規格救急車を更新し、近年高まる救急需要にこれまで以上に安心していただける救急対応を目指します。

また、当市では、少年消防団の活動が盛んです。少年消防団は、市内の小学校に通う5・6年生で構成されており、防火・防災に関する知識や技術を学び、地域防災の担い手になることを目的に平成24年に発足し、月に1回の訓練を実施しています。令和7年9月に広島県で開催された全国少年消防クラブ交流大会では、全国で50団体が出場し、第2位の成績を収めることができました。

浦安市消防本部は、昭和49年の設立以来「安心・安全のまち浦安」を守るべく災害への備えや消防・救急体制の充実に努め、昨年は設立50周年を迎えました。設立当時は23名の職員で消防業務をスタートしましたが、現在では206名（令和7年10月1日時点）の職員を抱える組織となりました。

社会情勢の変化により、火災をはじめとする各種災害も複雑多様化しており、市民から寄せられる期待もより一層大きくなっています。幾多の困難を乗り越えて歩んできた50年の歩みを止めることなく、次の世代に継承したいと考えています。この節目を新たな出発点として、職員一同、初心を忘れず研鑽を重ね、これからも力を合わせて着実に歩みを進めていきます。

第26回 全国女性消防操法大会
千葉県代表(柏市女性消防隊)激励会

女性消防隊消防技術の向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的として、令和7年10月28日(火)に神奈川県横浜市の赤レンガ倉庫イベント広場において「第26回全国女性消防操法大会」が開催されます。

これに先駆け、令和7年10月1日（水)、千葉県知事公舎において、県主催による「第26回全国女性消防操法大会千葉県代表激励会」が開催されました。

第26回目となる大会には、千葉県代表として「柏市女性消防隊」が出場、その活躍を祈念し激励を行うとともに、高梨千葉県副知事から鈴木哲 柏市消防団長へ「必勝」ののぼり旗が手渡され、出場選手を代表して3番員の小川友佳織さんから、大会に向けて強い意気込みと謝辞が述べられました。

第46回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）

訓練は、大規模な地震災害を想定し、行政や各防災機関が連携した救出救助や、災害時の住民自身の行動など実践的な訓練を実施するほか、減災への備えや発災時の対応に関する啓発・体験の機会を設けることで、自助・共助・公助の繋がりを強化し、地域の防災力を向上することを目的としています。

訓練終了後には、熊谷千葉県知事から訓練講評が行われ、続いて主催者である森館山市長、石橋千葉県消防協会長の挨拶、来賓を代表して三沢千葉県議会副議長、館山市議会議長が挨拶されました。

訓　練　概　要

1 実施日時・会場

令和7年10月19日（日）9時30分～ 13時

・メイン会場：海上自衛隊　館山航空基地

・サ ブ 会 場：国立館山海上技術学校、
館山市役所　ほか

（1）災害対策本部運営訓練
（2）津波避難訓練
（3）避難所運営訓練
（4）防災フェア
（5）救出救助実動訓練
（6）ライフライン復旧訓練
（7）応急救護訓練
（8）急患広域搬送訓練
（9）海路輸送による救援物資緊急輸送訓練
（10）多数遺体取扱訓練
（11）災害ボランティアセンター設置運営訓練
（12）物資輸送訓練

2 主　　催

千葉県、館山市、（公財）千葉県消防協会

3 訓練規模

参加機関（団体）　約100機関
参加人数　　約3,000名

自衛隊ヘリによるホイスト救助

安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部による救助

4 訓練想定

南海トラフ地震が発生し、館山市では震度5強を観測した。この地震により、大津波警報が発表され沿岸地域の住民は避難を余儀なくされた。地震発生から約30分後、津波の襲来により、市内は多数の建物が倒壊・流失し、火災が発生。逃げ遅れた住民は救助を求め、道路損壊等により孤立地域が発生している中、自助・共助・公助による懸命な災害対応が行われようとしている。

5 今回の訓練の特徴

(1) 地域住民が「自らの命は、自らが守る」という防災意識を持ち、発災時の適切な判断力・的確な行動力の育成、連帯意識の醸成を目指した普及啓発活動を実施する。
(2) 防災関係機関と行政機関の連携を図り、発災後の円滑な災害対応が実施できるように各種訓練を実施する。
(3) 地域特性を考慮し、津波避難訓練や孤立地域への物資輸送訓練を実施する。
(4) 過去の災害対応を振り返り、同様の課題に対応した訓練を実施する。

6 訓練の様子

千葉県警による救助活動

館山市消防団による放水

孤立地域を想定したドローンによる物資輸送

避難所運営訓練（国立館山海上技術学校）

ライフライン復旧訓練

防災フェア

第53回全国消防救助技術大会

千葉県消防長会

一般財団法人全国消防協会主催による第53回全国消防救助技術大会が8月30日（土）兵庫県立広域防災センターにおいて開催されました。

この大会には、全国9地区支部（720消防本部）から選抜された957名の隊員が出場し、陸上の部（基礎訓練2種目・連携訓練5種目・技術訓練）、水上の部（基礎訓練2種目・連携訓練5種目・技術訓練）において日頃の訓練成果を競い合いました。

本県からは、陸上の部7種目に8消防本部（局）26名、水上の部の1種目に1消防本部1名の隊員が出場し日頃の訓練成果を発揮しました。ご声援有難うございました。

陸上の部

《 基礎訓練 》

【 はしご登はん訓練 】
・習志野市消防本部
寺内 純平（入賞）

【 ロープブリッジ渡過訓練 】
・長生郡市広域市町村圏組合消防本部
矢部 菖吾（入賞）

《 連携訓練 》

【 ロープブリッジ救出訓練 】
・市原市消防局（入賞）
塩畑 篤
粕谷 翼
常住 悠斗
中村 竜也

【 障害突破訓練 】

・市川市消防局（入賞）
　鈴木 俊希
　早野 竜也
　川面 敬祐
　平川 拓叶
　吉村 虎之助

・千葉市消防局（入賞）
　秋山 弘貴
　石橋 陸
　後藤 裕雅
　大野 錬
　野崎 佑紀

水上の部

《 基礎訓練 》

【 基本泳法 】

・佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部（入賞）
　成田 翔一

消防職員初任科　第179期　卒業式
千葉県消防学校

令和7年9月19日（金）、千葉県消防学校大講堂において消防職員初任科第179期の卒業式が執り行われました。本年4月11日の入校式から30所属136名の若々しい消防職員が、6か月間にわたる厳しい教育訓練を終了し、消防職員として必要となる消火・救急救助知識及び技術を習得し、それぞれの所属に戻り、第一線で活躍することになります。

当日は、各消防（局）本部消防長が見守る中、厳粛に執り行われ、国歌斉唱の後、卒業生の氏名が点呼され、各人が緊張した面持ちで卒業証書の授与を受け、最優秀賞1名、優秀賞2名、努力賞3名の表彰と卒業生全員に記念品が贈呈されました。

その後、横田千葉県消防学校長の告辞、千葉県知事（代理　青柳防災危機管理部長）、千葉県消防協会長（代理　吉野副会長）、千葉県消防長会長（代理　林副会長）の祝辞に続き、卒業生を代表して印西地区消防組合消防本部の佐藤郁弥君から答辞が述べられ最後に校歌斉唱が行われ終了しました。

これに先駆け、前日の18日（木）には、6か月にわたる教育訓練の成果を確認するために、消防学校屋外訓練場において、学校教官、ご家族等が見守る中、「実科査閲」が実施されました。

学生集合、通常点検、訓練礼式、機器取扱訓練、救急訓練、救助訓練、体力向上体操、最後には活動訓練の集大成として、消防活動、救出訓練及び一斉放水訓練が行われました。

消防職員初任科　第180期　入校式
千葉県消防学校

令和7年10月2日（木）、千葉県消防学校大講堂において、消防職員初任科第180期入校式が行われ26所属132名の若々しい学生が入校し、来年3月までの6か月間の厳しい研修が始まります。

入校式は、各消防（局）本部消防長が見守る中、厳粛に執り行われ、一同敬礼の後、開式のことば、国歌斉唱、入校生指名点呼に続き、横田千葉県消防学校長の式辞が述べられ、来賓として千葉県知事（代理　青柳防災危機管理部長）、千葉県消防協会長（代理　吉野副会長）、千葉県消防長会長（代理　戸田副会長）からの祝辞がなされました。

続いて、入校生代表（船橋市消防局　胡口　大貴君）が宣誓を行い、研修に励み一人前の消防職員になる旨の誓いが述べられました。

横田消防学校長

入校生宣誓（船橋市消防局　胡口君）

第44回全国消防殉職者慰霊祭

令和7年9月11日（木）、「第44回全国消防殉職者慰霊祭」が日本消防会館ニッショーホールで殉職者遺族、各県の消防協会関係者等、約500名の参列者のもと執り行われました。

昭和23年の自治体消防発足以来、旺盛な郷土愛護と崇高な消防精神に燃え、全国の消防職団員による地域に根ざした防災活動の展開のなかで、残念なことに毎年消防殉職者が発生しており、その御霊は新たに合祀した5柱を加えて5,795柱を数えております。

式では秋本敏文日本消防協会長の式辞石破茂前内閣総理大臣、村上誠一郎前総務大臣及び遺族代表の追悼のことば、その後、参列者の皆様による献花が行われ、鎮魂の歌（木遣り）が捧げられました。

千葉県からは御遺族1家族と千葉県消防協会長が参加し、厳粛の中に執り行われました。

秋本日本消防協会長の式辞

献花の様子

鎮魂の歌（木遣り）

令和７年度 女性防火研修会

令和7年9月26日（金）に「令和7年度女性防火研修会」が千葉県少年女性防火委員会、千葉県女性防火クラブ連絡協議会及び（一財）日本防火・防災協会主催により開催されました。

冒頭、本年度、千葉県女性防火クラブ連絡協議会会長に就任された佐々木喜代枝様から主催者挨拶が行なわれ日本防火・防災協会の秋本敏文会長からの祝電が披露されました。

佐々木会長

引き続き、消防協会事務局から、近年の住宅火災の推移等について説明が行われました。

1 住宅火災件数は平成10年代前半以降、減少傾向にあり、令和2年には1万件を割ったがその後、若干増加傾向にある。

2 住宅火災による死者のうち、65歳以上の高齢者が占める割合は増加している。

3 住宅用火災報知器の設置と日常点検、感震ブレーカーの普及、防炎加工の寝具やカーテン、衣類の使用などにより、火災による被害を軽減する必要がある。

次に、研修会に参加いただいた各地域の女性防火クラブの方々に活動状況などについてそれぞれ発表いただきました。

参加者からは、他のクラブの活動の様子などを聞くことができ、大変有意義であったとの声がありました。

午後からは、常葉大学名誉教授の重川希志依氏を講師にお迎えし「過去の災害から本当に大切なことを学んできましたか」と題する講演が行われました。重川氏は、中央防災会議委員、消防審議会委員などを務められており防災教育や災害に強いまちづくり、人づくりのためのプログラム等の研究を続けられています。講演では、「いのちを守る」「いのちを守った人たちのくらしを守る」「暮らしの再建・復興」という災害対応の3つの目的について、阪神淡路大震災等の大規模災害時の具体事例を挙げながら、自助の大切さなど様々な角度からご講演いただきました。

各クラブの発表

重川希志依講師

東西南北

石川県能登半島地方視察

流山市消防本部

流山市消防本部は令和7年1月23日（木）及び24日（金）に石川県能登半島地方の視察に出向しました。被災地の現状の視察、奥能登広域圏事務組合消防本部の方々から、当時の状況、今回の被害により、判明した問題点や課題、今後の対応について、様々な内容の講義をしていただきました。

また、復興もままならない、この時期に、現場の状況の視察、講義等、受け入れていただき、奥能登広域圏事務組合消防本部の方々には本当に感謝申し上げます。

文化財を守るため消防団と合同で消火訓練を実施

市原市消防局

市原市南総消防署は、地元消防団と連携し、市民の文化財に対する防火意識及び文化財愛護思想の高揚を図るため、指定文化財からの出火を想定した消防演習を実施しました。

地域の特性上、山間部や狭隘道路が多く、災害発生時には公設消防隊の遅延が懸念されるため、地元消防団や地域住民の理解と協力が必要不可欠となります。この訓練を通して、「自助」「共助」「公助」の連携をより一層深め、災害に強いまち 市原を市民と共に目指していきたいと考えています。

消防協力者に消防署長感謝状を贈呈

松戸市消防局

松戸市二十世紀が丘消防署は令和7年5月21日（水）、松戸警察署でその他の火災における初期消火を実施した消防協力者に消防署長感謝状の贈呈式を行いました。

本事案は、同年4月5日（土）に江戸川河川敷で発生した枯草等が燃えているその他の火災において非番の松戸警察職員が、付近にいた人に119番通報を要請し、水バケツを使用して消火したものです。強風の中延焼拡大中であった火災を迅速且つ的確に消火したことにより火災の被害軽減に大きく寄与した事案であり、火災の延焼拡大を防止することができました。この一連の行動は、初期消火における多大なる功績となることから消防署長感謝状を贈呈しました。

東西南北 カスタマーハラスメント対策研修を開催

山武郡市広域行政組合消防本部

山武郡市広域行政組合消防本部は令和7年6月5日(木)、カスタマーハラスメント対策研修を開催しました。

この研修会は、「官公庁におけるカスタマーハラスメント対策」と題し、消防の窓口業務や災害、救急現場でも発生しうるカスタマーハラスメントへの対策を目的として、東金市危機管理監(千葉県警察から派遣)を講師として、主に管理職員を対象として行われました。

受講した職員は、「カスタマーハラスメントに対する正しい認識が得られた。いざという場面では、組織人として毅然とした対応を行えるようにしたい。」と感想を話していました。

今後も継続し、受講対象者を広げ開催していく予定です。

東西南北 令和７年度主任調査員研修を実施

松戸市消防局

松戸市消防局では、令和7年5月28日（水）及び29日（木）に火災調査に従事する主任調査員20名に対して、火災現場を再現した模擬居室を使用し、火災調査要領について、研修を開催しました。

アンケート結果からも、実際の焼損現場を見分することにより、調査要領や注意事項等について知ることができ、大変有意義であったとの意見が出ました。

また、主任調査員に対して、各所属でフィードバック研修の実施を義務づけているため、松戸市消防局全体としての火災調査能力の向上に繋がる研修になりました。

今後も組織として火災調査能力の向上に努めていきます。

東西南北 消防協力者に消防署長感謝状を贈呈

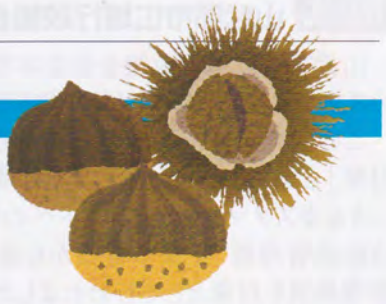
松戸市消防局

令和7年4月に松戸市二十世紀が丘萩町で発生した建物火災において、消防協力者3名による迅速な初期消火及び避難誘導が被害の拡大防止に大きく貢献されました。

危険を顧みない冷静な判断と行動力は、松戸市の防災意識の高さを象徴するものであり、若い世代の力強さを実感しました。地域の安全と防災力向上に大きく寄与されたことを称え、深く感謝の意を込めて感謝状を贈呈しました。

日々の動き

防災危機管理部／消防協会　共同編集



令和7年 11月・12月

11月12日・13日　第30回全国女性消防団員活性化長崎大会
22日・23日　消防団員指導員研修（千葉県消防学校）
12月4日・5日　関東甲信地区消防協会事務局長会議
25日　千葉県消防協会臨時理事会

2025年度　全国統一防火標語

「急ぐ日も　足止め火を止め　準備よし」

令和7年秋季全国火災予防運動

11月9日（日）から11月15日（土）までの7日間

重点推進項目

1　地震火災対策の推進
2　住宅防火対策の推進
3　林野火災予防対策の推進

推進項目

1　防火対象物等における防火安全対策の徹底
2　製品火災の発生防止に向けた取組みの推進
3　多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底
4　乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
5　放火火災防止対策の推進

＜表紙の説明＞

女性消防団員による普通救命講習（山武支部）

大網白里市消防団では、民間企業や子供会等の団体から要請を受けて普通救命講習を実施しています。この普通救命講習では応急手当普及員の資格を有する女性消防団員が講師を務め、活躍しています。

令和7年11月1日現在、大網白里市消防団には13名の女性消防団員が在籍し、全員が応急手当普及員資格を取得しています。資格取得後も定期的に普及員向けの講習を受講し、技術や知識を研鑽しています。

女性消防団員の主な活動は、救命講習を通じて地域住民に心肺蘇生法や応急手当の重要性を伝えることや、火災予防運動で市内を巡回して呼びかけを行うなど、女性ならではの視点で地域に密着した活動を展開しているのが特徴です。